

こんにちは 日本共産党府議会議員
さこ祐仁 議会報告



京都市府議会 12月、定例議会終わる

「平成22年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算を認定の件」に反対しました

反対理由①は、商工会議所や国保への補助金復活への願いに商工会への補助金を4千万円削減している。さらに、子ども減し、5年間で3億5千万円にの医療費助成の拡充や私学助成のぼる削減や、地元中小企業がの府外生徒への適用を先送りす苦境に立っているときに、府立など、社会保障の充実の願い学校の地デジテレビ設置を東京に依っていない。

②は、違法な派遣切りを行い、労働局の指導にも従わなかった。③は、国保料の値上げにつながる国保の都道府県単位の一元化の方針の具体化や国保料が高すぎる。④は東京電力福島第一原発事故の内需を温める中小企業支援策をとっていない。

⑤は府政運営全般が、国の進めを放棄する構造改革路線をいっそう進める地域主権改革の推進や関西広域連合の発足、京都地方税機構の推進など、自治体本来の役割をゆがめる運営になっている。

の願いが大きくなっている。大飯原発3、4号機の再稼働やもんじゅ再開に反対の意思を表明せず、脱原発の願いに全く答えていない。

論戦で知事を追い詰め、一部要求実現!

関西電力に「立地県並み求め、この12月15日よの協定」を求めているにも最低制限価格の引き上げかかわらず、府民の原発撤や「地域貢献優先型総合評価の願いに依えない事は重価入札」の試行、物品調達大な問題である。一方、我の地元企業発注方式の一部が党議員団が求めた原子力実施等を含む入札制度の改防災にかかる専門家の職員善が実施されることとなつた。

府内業者の厳しい実態を踏まえた入札制度の改善を

室町学区、餅つき大会(12月11日)に参加



毎年恒例になり、写真のように、近所の学生さんも並んで、餅つきの手伝いをしてくれるので、大助かり。

地域の取り組み紹介

15日「市政刷新の会」全体集会 千人参加



中村和雄弁護士を支援する弁護士会の会(NKB48)のみなさんの替え歌も披露されました